

応募テーマのリクワイヤメント

【応募テーマ：無人化・省力化に向けた流量観測機器の開発】

コンセプトは「流量観測機器のコンセプト」のページを参照

○リクワイヤメント

主な技術仕様等

- 洪水時の表面流速を無人もしくはは省力（2人程度）で計測する機器（接触型、非接触型、固定式、非固定式問わず）
- 固定式観測については、洪水時に10分以下の間隔で連続観測できること（河川砂防技術基準調査基準調査編より）
- 非固定式観測については、1時間より短い観測間隔で観測できること（河川砂防技術基準調査編より）
- 豪雨（50mm/h以上）でも異常値なく流速観測が可能
- 夜間でも観測が可能
- 使用温度範囲：-10℃～40℃
- 対雷機能を確保
- 橋梁への機器の設置を想定する場合には、橋梁の震動の影響を考慮すること
- 画像式については、オートプリセットの際、画角が変化しないよう自動補正されること
- 観測時に流速データ等の速報値をインターネット等で送信可能
- 観測データの監視・保存等は企業等が自ら実施し、国交省が指定する期日にデータを提出

公募を期待する企業等のイメージ

- 水文観測関連企業
- カメラ関連企業等

○オプション（必須の仕様ではありません）

- 既存の電源及び通信設備がない場合でも観測可能（停電時においても連続3日以上稼働できること）
- 使用温度範囲：寒冷地（温度範囲：-20℃～40℃）での使用にも対応可能
- リアルタイムで水位の計測が可能
- 流速分布の計測が可能
- 流速観測時にリアルタイムで河道の流量算定が可能